

社会資本総合整備計画【平成22年度～平成26年度】

交付金名称：防災・安全社会資本整備交付金

整備計画名：頻発する災害へ対応し、安全・安心を確保した生活基盤づくり

計画の目標

近年の異常気象に対応出来る水害対策として、局地的豪雨等により洪水被害が多発している都市近郊河川の水害常襲区間へ予算を重点化し早期解消を図る。また、冬季波浪、台風等による海岸侵食等の災害に対処するとともに、秋田県特有の良好な海岸環境を保全するため、人工リーフ等の海岸保全施設を整備し、県民生活の安全・安心を確保する。さらに、県管理ダムの継続的な機能を維持し、危機管理体制を強化するため、ダム本体放流設備・情報通信機器等を計画的に改良し、県民の安全・安心を確保する。

アウトカム目標と整備達成状況

① 河川改修等により、浸水被害が解消される面積の向上

アウトカム指標	現況値 H22当初	最終 H26末
目標	0ha	211ha
実績	0ha	147.2ha

目標未達成

地権者等との用地買収の協議や工法の検討に時間を要し、事業進捗に遅れが生じたため、目標値を達成できませんでした。今後、関係者への丁寧な説明と、工法検討等に関する事務処理の効率化を図り、事業を推進してまいります。

② 侵食被害の恐れがある海岸における、侵食対策施設の必要残延長の低減

アウトカム指標	現況値 H22当初	最終 H26末
目標	939.5m	420m
実績	939.5m	390.5m

目標を達成

目標残延長420mに対し、現場施工コストの低減を図り事業を進捗させたことにより、残延長を390.5mまで縮減し、目標値を上回ることができました。

③ 機能改善が必要なダム数の低減

アウトカム指標	現況値 H22当初	最終 H26末
目標	9ダム	8ダム
実績	9ダム	8ダム

目標を達成

事業が順調に進捗し、目標値を達成することができました。

完成事業の紹介

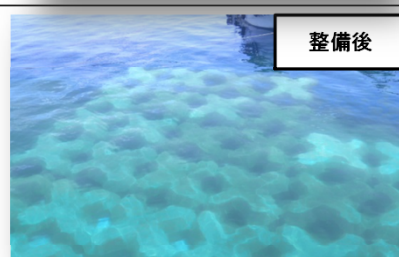
新城川

毎年のように洪水氾濫によって家屋や農地への浸水被害がありましたが、近年洪水に対応できる暫定断面での通水を開始し、洪水被害が減少しました。



浅内海岸

人工リーフ(潜堤)を整備することにより、砂浜幅の確保がなされ、海岸環境を向上することができました。



山瀬ダム

耐候性の優れた塗装を行うことにより、扉体の延命化を図り、ダムの防災機能を向上することができました。



今後の方針

県管理河川等においては、近年多発している局地的豪雨等に十分対応できない箇所が今も残っています。今後もこれら対策が必要な箇所について、「秋田県河川整備計画」等を基に地域の安全・安心の向上のため、整備を進めてまいります。